

3年生の学習到達目標

- (1)進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2)旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3)音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

3年生の学習内容

学期	学習のねらい	単元名	学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律を階名で模唱したり視唱したりして、楽譜を見て歌うことに慣れるようにします。</li> <li>・リコーダーの音を味わって聴いたり、基本的な奏法に親しんだりします。</li> <li>・旋律の階名視奏に親しんだり、きれいな音色を感じ取って演奏の仕方を工夫したりします。</li> </ul>	階名になれよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やわらかい声で歌おう</li> <li>・ドレミになれよう</li> <li>・リコーダーとなかよしになろう</li> <li>・ふしをふいてみよう</li> <li>リコーダーのひびきをかんとろう</li> <li>・新しい音をおぼえよう</li> <li>・リコーダーといっしょに合そうしよう</li> <li>春の小川</li> <li>ドレミで歌おう</li> <li>茶つみ</li> <li>海風きって</li> <li>小鳥のために / (さん歌)</li> <li>小さな花</li> <li>かり かり わたれ</li> <li>さよなら</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊に聴いたり表現したりすることができるようにします。</li> <li>・イメージに合った音を探したり、表現の仕方を工夫したりすることができるようにします。</li> </ul>	いろいろな音のちがいをかんとろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい音をおぼえよう</li> <li>・ひびきをかんとてえんそうしよう</li> <li>・音のとくちょうをしらべよう</li> <li>・楽しいひょうげんをくふうしよう</li> <li>金かんがっきの音楽をきこう</li> <li>うさぎ</li> <li>おかしのすきなまほう使い</li> <li>茶つみ</li> <li>(かりうどの合しょう / バイエルンポルカ / トラ ンペットふきの休日)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。</li> </ul>	ふしのとくちょうをかんとろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まほうをかける音をつくりましょう。</li> <li>金かんがっきの音をききくら</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。</li> <li>・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。</li> </ul>	曲の気分をかんじとろう	べましよう。 バードウォッチング 馬にのって ふじ山 ねむたい こねこ エーデルワイス  ・曲の気分を生かして歌いましょう。 ようすを思いうかべながらききましょう。 ・曲の気分を生かして合そうしましょう ちびっこカウボーイ ハックルベリーフィン ゆかいな木きん
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの音を聴きながら、拍の流れに乗って旋律を表現することができるようにします。</li> <li>・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。</li> <li>・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌ったり、歌う喜びを味わったりすることができるようにします。</li> </ul>	音をきき合って合わせよう  生き生きと歌おう	・いろいろな音のかさなりを楽しみながら、えんそうしましょう。 歌とがっきのひびきをききましょう。 ・音のかさなりをかんじながら合そうしましょう。  あの雲のように 二人でおどりましょう パフ ・リズムにのって歌いましょう。 きょうりゅうとチャチャチャ あの青い空のように きみがよ

### 3年生の評価

音楽では、「音楽への関心・意欲・態度」「音楽的な感受や表現の工夫」「表現の技能」「鑑賞の能力」の四つの観点で評価します。			
音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。

次のような方法で見えていきます。

学習活動 演奏テスト 鑑賞カード 学習カード 自己評価

### おうちの方へお願い

日常生活の中で、いろいろな音楽に親しみ、楽しむ機会を多くもつことは、音楽への関心を広げ、心を耕すことにつながります。家庭でも音楽を楽しむ機会をより多くもてると良いと思います。

楽器（リコーダー等）の練習を聞いたり、歌ったりしながら、その上達を励まし、共に喜んであげてください。